

クウェート経済の現状

世界銀行の「中東・北アフリカ地域（MENA）経済モニター」最新レポートでは、クウェートの GDP が 2014 年の 1.6%減少に続き、2015 年には 1.3%減少したと推定している。一方、2015 年の原油生産は 1.7%下落した。GDP の 3 分の 2 を占める原油セクターの成長率は、サウジアラビアとの共有資源をめぐる論争が継続し、2015 年半ばに中立地帯の油田閉鎖に至ったことが影響した。非原油セクターの成長率も、2015 年はさらに緩やかになった。これは、世界での原油価格の下落が、特に不動産と建設業において、景況感と経済活動に大きな打撃を与えたことによる。2015 年のインフレ率は、平均でちょうど 3.3%と、引き続き低い水準のままである。

財政と経常収支は厳しくなりつつある。近年、政府収入の 4 分の 3 に寄与してきた原油収入だが、原油価格下落に伴い 2015 年中に 50%近く減少。支出調整を徐々に行いながらも、2015 会計年度の対 GDP 比はマイナス 3.6%と、クウェートは 1999 年以来初の財政赤字を記録すると予想される。経常収支の黒字は、対 GDP 比で 2014 年の 30%超から大きく縮小したが、2015 年は 9.6%に留まっている。米ドルに支配されている主要通貨にクウェート・ディナール（以下 KD）を連動させながら、クウェート中央銀行は政策金利を 25 ベーシスポイント（bp）引き上げて 2.25%にした。これは、2015 年 12 月の米国連邦準備制度理事会による利上げに続くものである。他の面では、民間セクターの信用は穏やかなペースで上昇しており、金融リスクの懸念を緩和させている。

主要経済指標				
	2014	2015e	2016f	2017f
実質 GDP 成長率（%）	-1.6	-1.3	1.3	1.6
インフレ率（%）	2.9	3.3	3.0	3.0
経常収支（対 GDP 比 %）	18.7	-3.6	0.5	4.0
財政収支（対 GDP 比 %）	36.9	9.6	3.3	11.3

出典：世界銀行

財政改革は限定的な状態が続いている。経常支出が総支出の 90%に達していることから、経費の削減は大きな課題であることが分かっている。またクウェート政府は、電気および燃料への補助金削減を提言しているが、国会での強い反対に直面している。内閣は、公共セクターと歳出の改革、PPP と民営化、中小企業の発展、労働市場と投資環境の改革に重点を置いた改革に関する包括提案を 3 月中旬に承認した。しかし、この提言も今後、国会の承認を得る必要がある。

クウェート政府は 2015- 19 年の開発計画のもと、既存の製油所の近代化、新規製油所、および主要な交通プロジェクトを含む大型プロジェクト実施の取り組みを加速させた。大型プロジェクトの実施は、脱石油経済の基礎の構築にとって、また短中期的には、炭化水素の生産増加にとっても重要となる。

2016 年には成長率が 1.3%に回復し、中期的に徐々に持ち直していく見通しである。世界銀行 MENA 経済レポートでは、原油生産の増加（近年の発掘、生産効率の向上、および 2017 年に中立地帯の油田での生産再開による）に支えられた活動が期待されている。長年のプロジェクトの停滞と遅延はあったものの、2015 年には主要インフラおよび開発プロジェクトが発注され、投資への見通しも向上した。非原油セクターの成長率も、並行して加速するはずである。また、財政と経常収支の状況も、原油価格と生産の緩やかな回復とともに徐々に改善するだろう。公共財政は、2017 年に予定される VAT（付加価値税）の実施を含め、歳入・歳出改革の段階的实施によっても後押しされるはずだ。しかし、下方リスクもある。外的リスクには、地政学的な緊張と紛争（シリア、イラク、イエメン等）からの飛び火、世界的な原油価格低迷の長期化、そして、世界金融不安などがある。世界金融不安が起これば、民間セクターの PPP に対する投資意欲はそがれ、政府は既定路線の財政引き締めにますます頼ることになるだろう。一方、国内の主要リスクには、実施インフラプロジェクトの進行が遅いことや、重要な財政改革を遅らせる議会の行き詰まりなどが挙げられる。銀行セクターは十分な資本を持つものの、不動産セクターのリスクにさらされている。

クウェートの主なインフラプロジェクト

クウェートのインフラプロジェクト市場は、原油価格が低迷する状況と国家財政に与える影響にもかかわらず、拡大を続けている。ドバイの民間経済情報メディア MEED 社が発行するプロジェクト情報トラッカー「MEED Projects」によれば、クウェートは 2016 年第 2 四半期に 8 億 1,200 万 KD（27 億米ドル：1KD=3.3 米ドル ※2017 年 6 月時点。以下同じ）相当の契約を発注した。これにより、2016 年までに発注された契約総額は 22 億 5,000 万 KD（75 億米ドル）となった。6 月末までには、クウェートのインフラプロジェクト市場（進行中および計画済）は、年初来より 2.9%増の 768 億 KD（2,550 億米ドル）に成長し、年末までにさらに 84 億 KD（270 億米ドル）相当の契約発注が見込まれている。

クウェートのインフラプロジェクト市場は、原油の低価格に加え、直接投資に対する海外の関心が不足している、民間セクターの競争力が弱い、そして環境面での魅力が近隣諸国に比べて劣るといった多くの課題を抱えているものの、経済は潤沢であり政府は野心的な 5 カ年計画を立てている。この計画には、現在、クウェートの老朽化したインフラの改善を目的とした 8 件を超える官民パートナーシップの構想が含まれている。

「MEED Projects」によると、2016 年の計画プロジェクトの大部分（44%）の入札が現在審査中であり、さらに 27%が元請負契約の応札段階に入っている。これは計画プロジェクトの 71%超が契約締結前の最終段階にあることを意味する。

ここでは、石油・ガス、建設、電力・水、交通といった重要分野を中心に、クウェートの主要なインフラプロジェクト開発を要約する。

石油・ガス：

- 2つの巨大なクリーン燃料プロジェクト（CFP／Clean Fuels Project）と新製油所プロジェクト（NRP／New Refinery Project）がそれぞれ 2014 年と 2015 年に発注された後に、クウェートの石油セクターにおいて進行中のプロジェクト価値は弱まり始めた。石油・ガスプロジェクトは、2016 年のクウェート全体の計画プロジェクトの 27%を占めているが、交通セクターや電力・水セクターより少ない。それでも、クウェートが今年 23 億 KD 相当（約 6.9 億米ドル）のプロジェクトの発注を予定していることから、石油・ガスセクターが減速している訳ではない。
- 2016 年上半期には、液化天然ガス（LNG）の輸入・再ガス化ターミナル（Import and Regasification Terminal）の建設を行う 8 億 8200 万 KD（29 億米ドル）の契約を KNPC（Kuwait National Petroleum Company／クウェート国営石油精製会社）が獲得。
- 加えてクウェートは、クウェート北部のジュラシック層非随伴ガス埋蔵量プロジェクト（Jurassic Non-Associated Gas Reserves project）を入札にかけ、国内のガス生産を拡大している。炭化水素の探鉱・開発・生産（上流部門）を行う国有企業クウェート国営石油会社（KOC／Kuwait Oil Company）は、1 日あたり 1 万 472 トンの天然ガス生産を目指す本プロジェクト開発のため、17 億 KD（57 億米ドル）相当の 3 契約を入札にかけた。
- 1 月には、米国企シュルンベルジェ（Schlumberger）が、サブリーヤ（Sabriyah）とウム・ニカー（Umm Niqa）の油田開発を行う 1 億 4,400 万 KD（4 億 8,000 万米ドル）の契約を受注。さらに報道によれば、シュルンベルジェは、東ラウダタイン（East Raudhatain）一括契約および西ラウダタイン（West Raudhatain）一括契約に対して最低価格で応札したとされている。しかし MEED によると、残る 2 契約がいまだ審査中のため、同社が 3 契約すべてを勝ち取る可能性は低い。この 2 契約は、各々 5 億 4,200 万 KD（18 億米ドル）と評価されている。
- KOC は 2 億 4,000 万 KD（約 7,200 万米ドル）の新製油所 FEED パイプライン（New Refinery FEED pipeline）の契約を再入札にかけている。同契約はサウス石油貯蔵施設（South Tank Farm）をアル＝ズール（Al-Zour）の新製油所（New Refinery at Al-Zour）に繋げることを目的としており、2015 年の初回入札が国会で批判された後に再入札されている。

建設：

- クウェートは、2016 年上半期に 5 億 7,000 万 KD（17 億米ドル）相当の建設プロジェクトを発注した。最も大きく注目すべき発注プロジェクトは、新産婦人科病院（New Maternity Hospital）である。ベッド数 600 床の新産婦人科病院は、サバーハ医療地区（Sabah Medical Area）の既存の産婦人科病院の向かいに建設される予定。同病院は 2013 年に入札にかけられたが、予算超過のためキャンセルされた 4 プロジェクトのうちの 1 つである。契約は、伊企業ピザロッティ（Pizzarotti）が 2 億 1900 万 KD（7 億 3,000 万米ドル）で受注している。

- 首長府 (The Amiri Diwan) のプロジェクト予定には、新アル＝ジャフラ病院 (new Al-Jahra Hospital)、アル＝シャヒード公園 (Al-Shaheed Park)、そして年末までには完成予定のアブドゥラー・アル＝サーレム (Abdullah Al-Salem) およびジャビール・アル＝アフメド (Jaber Al-Ahmed) の文化センター2 棟プロジェクトが含まれる。6 月 20 日、首長府 は現地のデベロッパー、バーヤーン国立貿易会社 (Bayan National Trading Company) に 4,900 万 KD (約 1500 万米ドル) の契約でクウェート・モーター・タウン (Kuwait's Motor Town) の設計と建設を発注したことを発表した。これには、国際基準に対応したレースサーキット 7 カ所の建設が含まれており、将来クウェートでフォーミュラ 1 (Formula 1) や リロードレース世界選手権 (MotoGP) のレース開催が可能となる。また、首長府はクウェート国際空港の旅客サポートターミナル・プロジェクト (Passenger Support Terminal Project at Kuwait's International Airport) も引き継いだ。同プロジェクトは、元々民間航空総局 (DGCA / Directorate General of Civil Aviation) によって入札にかけられたが、2016 年 5 月に所有権が首長府に移管された。旅客サポートターミナルは、年間 450 万人の乗客を受け入れ、新空港ターミナル (New Airport Terminal) 建設中の暫定ターミナルとして機能する予定だ。同 (拡張) プロジェクトは、2016 年 11 月に予定される契約締結から 450 日後に稼働開始予定。

電力・水：

- KAPP (Kuwait Authority for Partnership Projects / クウェート官民連携事業庁) は、今年入札予定となっていた自身のプロジェクトのうち 3 つの期日を延長した。4 億 5000 万 KD (15 億米ドル) のウムム・アル＝ハイマーン下水処理場 (Umm Al-Hayman Wastewater Treatment Plant) の元請負契約入札は 8 月 31 日まで 3 回延期されている。一方、カブドゥ市固形廃棄物プロジェクト (Kabd Municipal Solid Waste Project) の入札は 7 月 28 日に変更された。アル＝アブダリーヤ太陽熱複合発電方式 (ISCC) 発電所 (Al Abdaliya Integrated Solar Combined Cycle (ISCC) Power Plant (CSP)) の入札も、7 月 28 日に延期。本プロジェクトでは、クウェートが太陽エネルギーを活用して環境汚染レベルの低減に寄与すると見込まれる。本プロジェクトは 2 平方キロメートルのエリアで開発される予定だ。KAPP は、アル＝ゾール・ノース (Al-Zour North) IWPP (発電・造水複合施設) フェーズ 2 の元請負契約の入札を発表した。同プロジェクトは、1,800 メガワット (MW) の電力と 1 日あたり 46 万 4,100 立方メートルの脱塩水の生産を目指す。6 月 21 日の KAPP の発表によれば、11 社が参加する合弁企業 3 社が応札したが、詳細は公表されていない。官民パートナーシップ (PPP) は、クウェートの経済改革計画の 6 本柱のひとつであり、インフラプロジェクト市場の大きな強みのひとつと考えられている。しかし最近のニュースによれば、政府が KAPP と他の政府機関との合併を検討しており、KDIPA (Kuwait Direct Investment Promotion Authority / クウェート直接投資促進庁) が第一候補である。このような動きは効率を大いに高め、官僚主義を改めることになるだろうが、現時点での合併は少なくとも当面の発注プロセスを遅らせる影響が出る可能性が高い。

交通：

- クウェートは交通セクターに多額の投資を行っており、**2016 年における計画プロジェクト総額の 34%にのぼる**。MEED Projects によると、クウェートは東北地域高速道路（North & East Regional Highway）の開発を計画しており、道路のアップグレードに 5 億 1,700 万 KD（約 1 億 5600 万米ドル）を投じる。これにより、GCC 湾岸諸国内の地域間取引と国際貿易の成長を促す。本プロジェクトには様々な一括契約が含まれる（全容については未公表）。
- 5 月に、現地業者の KCPC（Kuwait Company for Process Plant Construction & Contracting／クウェート化学プラント開発・請負会社）が、クウェート市西方のサード・アル＝アブドゥラー（Saad Al Abdulla）エリアからクウェート北部のブハイス（Buhaith）までの道路改修で 9,700 万 KD（3 億 2,400 万米ドル）の契約を受注した。
- また、公共事業省（Ministry of Public Works）は、サウジアラビアとの国境付近のサルミー（Salmi）と環状道路 6 号線を接続する道路の 1 億 8,100 万 KD（6 億米ドル）の契約の入札審査も行っている。
- 6 月下旬には、住宅庁（PAHW ／Public Authority for Housing Welfare）が、今年に入ってこれまでにクウェートで 2 番目に大きな契約を締結した。住宅庁は 2 億 8,800 万 KD のサウス・マトラー・シティ大型インフラ事業一括契約第 1 号（South Mutlaa City Major Infrastructure Works Package Contract 1）をイタリアのサリーニ・インプレジーロ（Salini Impregilo）とトルコのコリン（Kolin）の建設メジャー合弁事業に発注した。同契約は、同都市の主要道路とインフラの開発を監督するもので、ほぼ 3 万戸の住宅ユニットが提供される予定である。同プロジェクトに関して住宅庁は、年末までに新たな道路 2 本とインフラの一括契約の入札準備も進めている。

主なメガインフラプロジェクト：

プロジェクト	事業費	セクター	クライアント（発注者）	説明
シェイク・ジャービル・アル＝アフマド・アル＝サバーハ・コーズウェイ－フェーズ2（ドーハリリンク） Sheikh Jaber Al Ahmad Al Sabah Causeway - Phase 2 (Doha Link)	70 億 米ドル	交通	クウェート公共事業省 (MPW) Ministry of Public Works (MPW), Kuwait	道路を高速道路標準仕様にアップグレードすることにより、渋滞解消を目的とする。フェーズ2では、中央分離帯のある4車線の幹線道路、歩道および自動車向け橋梁の基本設計と詳細設計を含む。 状況：計画済
クウェート・メトロ・プロジェクト Kuwait Metro Project	70 億 米ドル	交通	クウェート通信省 Ministry of Communications, Kuwait	クウェート・メトロは、クウェート市内に張り巡らされる 171km 長の都市内交通。初の地下鉄プロジェクトであり、2009 年以降クウェート政府が2番目に発足させた官民パートナーシッププロジェクトである。70 億米ドルの事業費見積もりで、政府がプロジェクトの10%を所有し、初回公募を通じて資金の50%を調達予定。状況：計画済
クウェート国際空港拡張 Kuwait International Airport Expansion	70 億 米ドル	交通	民間航空総局 (DGCA) 公共事業省 (MPW) Directorate General of Civil Aviation (DGCA) Ministry of Public Works (MPW)	契約に基づき、クウェート国際空港で新たにターミナルと滑走路を建設予定。これにより、2016 年までに30ゲートを増設し、旅客処理能力を700万人から1,300万人に増やす。空港の受入れ能力は2025年までに旅客数が2,500万人に達する見込み。状況：建設工事の入札
ジュラシック層非随伴石油・ガス埋蔵量拡大－フェーズ2 Jurassic Non-Associated Oil & Gas Reserves Expansion – Phase 2	57 億 米ドル	石油 ガス	クウェート国営石油会社 (KOC) Kuwait Oil Company (KOC)	上流部門の国有企業 KOC は、同プロジェクト開発のため17億KD（57億米ドル）相当の3契約を入札にかけた。同プロジェクトは、1日あたり1万472トンの天然ガス産出を目指す。状況：入札
LNG 輸入・再ガス化 LNG Import and Regasification	29 億 米ドル	石油 ガス	クウェート国営石油精製会社 (KNPC) Kuwait National Petroleum Company (KNPC)	2016 年上半年期、液化天然ガス (LNG) の輸入および再ガス化ターミナルの建設を目的とした、8億8,200万KD（29億米ドル）の契約を発注。状況：建設中
シェイク・ジャービル・アル＝アフマド・アル＝サバーハ・コーズウェイ－フェーズ1（スビーヤ・コーズウェイ） Sheikh Jaber Al Ahmed Al Sabah Causeway - Phase 1 (Subiya Causeway).	26 億 米ドル	交通	クウェート公共事業省 (MPW) Ministry of Public Works (MPW), Kuwait	クウェート市を、北部スビーヤ (Subiya) に開発中の「マディナ・アル＝ハリール (Madinat al-Hareer / シルク・シティ (Silk City))」に繋げるコーズウェイと70億米ドルのクウェート・メトロは、2018年と2019年に完成する予定。フェーズ1は、高速道路を拡幅し連続した高速道路にアップグレードするための交通量と交通の調査から成る。状況：建設中
ウンム・アル＝ハイヤーン下水処理場 (WWTP) 拡大 Umm al Hayman Wastewater Treatment Plant (WWTP) Expansion.	15 億 米ドル	電力・水	クウェート公共事業省 (MPW) パートナーシップ・テクニカル・ビューロー (PTB) Ministry of Public Works (MPW), Kuwait Partnerships Technical Bureau (PTB)	新 PPP モデルは、国の許可および外国投資ルール的大幅な改訂と簡素化の一環として昨年導入された。本モデルに基づき、クウェートは遅延している1億3,300万米ドルのウンム・アル＝ハイヤーン下水処理場プロジェクトを今年の第4四半期に発注することを切望している。状況：設計中
ブビヤン島－フェーズ1（ステージ3） Boubyan Island - Phase 1 (Stage 3).	15 億 米ドル	建設	メガプロジェクト庁 (MPA) クウェート公共事業省 (MPW) Mega Projects Agency (MPA) Ministry of Public Works (MPW), Kuwait	ブビヤン島海港プロジェクトは、ブビヤン島東海岸に位置する新しいブビヤン海港をクウェート本土のスビーヤン＝イラク道路 (Subiyani-Iraq Road) に繋げる、中央分離帯のある3車線道路33kmの設計および建設を含む。状況：設計中

プロジェクト	事業費	セクター	クライアント（発注者）	説明
クウェート新製油所プロジェクト（NRP）－一括契約第 5 号－海洋事業. Kuwait New Refinery Project (NRP) - Package 5 – Marine Works.	15 億 6,000 万米ドル	石油 ガス	クウェート国営石油公社（KNPC） Kuwait National Petroleum Company (KNPC)	下流部門を行う KNPC が、7 月 28 日に 5 つの主要建設契約のうち総額 115 億米ドル相当となる 4 契約を発注。内容は、長く切望されていた重要な新製油所プロジェクト（NRP）で、何十年もの遅れを終わらせるもの。状況：建設工事の入札
ジャハラー・ストリートアップグレード Jahra Street Upgrade.	9 億 2,500 万米ドル	交通	クウェート公共事業省（MPW） Ministry of Public Works (MPW), Kuwait	道路を、最新の国際基準に沿った高速道路の標準仕様にアップグレード。アル＝ジャハラー道路（Al - Jahra Road）プロジェクト：全長 11.24km、立体 3.42km、ジャンクションとランプ 17.31km、サービス道路 15.14km、交差点解消 5 カ所、ラウンドアバウト 7 カ所。本プロジェクトは連続した 5 フェーズに分かれる。 コンサルタント：米ルイス・バーガー・グループ（Louis Berger Group Inc.）、クウェートのパン・アラブ・コンサルティング（Pan Arab Consulting engineering）との JV 状況：建設中
ジャマール・アブドゥル・ナーセル・ストリート Jamal Abdul Nasser Street	8 億 米ドル	交通	クウェート公共事業省（MPW） Ministry of Public Works (MPW), Kuwait	改善内容に含まれるのは次のとおり。アル＝ジャハラー道路に 6～8 車線の出入制限高速道路 11.2km の建設、3.4km の 4～6 車線接続道路、インターチェンジ用の 1～3 車線のランプ 17.3km、15.1km のほぼ 6 車線のサービス道路。高架橋部分は本線アル＝ジャハラー道路の 7.3km、接続道路の 2.4km、ランプの 8km を含む。状況：建設中
クウェート新製油所プロジェクト（NRP）－浚渫および埋め立て Kuwait New Refinery Project (NRP) - Dredging and Reclamation.	6 億 4,000 万米ドル	石油ガス	クウェート国営石油公社（KNPC） Kuwait National Petroleum Company (KNPC)	ドイツのファン・オールト建設（Van Oord）が昨年 3 月に土地造成を勝ち取った。内容は、新製油所建設のための土地埋め立てを含む。同製油所は 1 日あたり 61 万 5000 バレルを生産する予定で、この新製油所への数十億米ドルにのぼる投資事業の第 1 フェーズである。

クウェート・インフラレポート

2016年12月作成

日本貿易振興機構（ジェトロ）ものづくり産業部 環境・インフラ課
〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
Tel. 03-3582-5542